

知っておきたいイノシシ対策 農作物を被害から守る基礎知識



イノシシは十二支（干支）のひとつで私たちにとってなじみのある動物ですが、意外とその生態は知られていません。イノシシによる農作物被害が全国的に始まったのは1970年代頃からと言われており、本格的に対策の研究がはじめられたのはつい最近のことなのです。被害を防止するためには、まずは相手のことを正確に知ることからです。

生態

- 昼夜を問わず、エサを求めて活動。
- 味が濃厚で、甘みが強いものが大好物。イモや根茎、タケノコ、昆虫の幼虫やミミズなど、なんでも食べる雑食性。
- 行動範囲は2〜3kmで、時期により広がりを見せる。定着と移動を繰り返す。
- メスは子どもや姉妹と群れをつくる。オスは単独生活をするが、交尾期にメスの群れに入る。縄張り性は低い。
- 交尾期は年に1回で12〜2月頃。出産期は4〜6月頃と言われており、5頭前後の多出産。野生での平均寿命は10年程度。

特徴

- 本来警戒心が強く、臆病で注意深い。反面慣れると大胆不敵になる。
- 主に通りなれた「けもの道」を移動する。
- 鼻は敏感で、周囲のにおいや感触をさぐる際に使われる一方、70kgの石を動かすほど力強く、地面を掘ることもできる。
- 跳躍力に優れ、助走なしで1m、よじ登ることができれば2mの高さを乗り越える。また20cmのすき間をくぐり抜ける柔軟さもある。
- 体毛は太く剛毛で、電気を通しにくい。
- 人の動きを観察し、真似をする賢さがある。学習能力も高く、覚えが早い。一度覚えると忘れない記憶力も持つ。

【獣類の足跡】



イノシシ



タヌキ



イタチ

対策① 近づけない

イノシシの被害対策は、地域ぐるみの取り組みがとても大切で、その第一歩がイノシシを近づけない環境を作ることです。「行きたい・近づきたい」と思わせる要因を一つでもなくして、イノシシにとって魅力のない集落にすることがポイントです。

■餌付けにすることをしない

○生ゴミや野菜くずを田畑や山際に捨てない。

○収穫の終わった野菜や果樹等の残渣を畑に残さない。

○お墓のお供えは持ち帰る。

■田畑に近づけない

○休耕地や耕作放棄地は格好の寝床やヌタ場になったり、田畑への侵入口になるので、草刈など適正な管理を行う。

○山際の草木の伐採や枝払いをして見通しを良くし、出没しにくく、逃げにくい環境をつくる。

○警戒心を持たせるため、田畑の見回りはできるだけ山際の道を通り、けもの道を見つけたら歩いてみる。

対策② 侵入させない

イノシシの被害を防止する設備には、心理的・物理的に侵入を防止するさまざまな資材があります。現場に合わせて正しく設置し、また設備の効果が低下しないよう草刈などの維持管理や点検をこまめに行いましょう。

■ワイヤーメッシュ：丈夫な鋼線を縦横に溶接した建築資材で、視覚的遮断効果はないが、上手に使用えば強度に優れた柵として利用できる。地形に合わせてすき間ができないように設置する必要があります。

■電気柵：軽量で設置や収納が容易で侵入防止効果が高い。背中などの毛皮部分は感電せず、鼻先がよく通電する。周囲の草刈りや通電の確認など、継続した管理をおこなない、漏電等による効果低下に注意する必要がある。

■その他：トタン板やネット、忌避剤等。



ワイヤーメッシュ



電気柵

対策③ 捕獲する

イノシシ対策としては、①イノシシが嫌がる環境整備、②田畑を効果的に囲う防除対策、③捕獲（駆除）による適切な個体数管理、この三つをバランスよく実施することが大切です。捕獲するには、有害鳥獣捕獲と狩猟の2種類があり、時期により区別されています。

■有害鳥獣捕獲期間：3月16日から11月14日までで、町長の許可を得て各地区の捕獲隊が捕獲する制度。平成22年度の上島町での捕獲実績は112頭（弓削98頭、佐島3頭、岩城11頭）

■狩猟期間：11月15日から3月15日までの期間で、狩猟免許を持つ者に對して県知事が許可するものです。

■農家による捕獲：野生鳥獣を捕獲するには、狩猟免許が必要です。免許試験は例年8月～9月に県が実施しており、免許取得後、各地区のイノシシ捕獲隊に属して捕獲活動を行います。

上島町の鳥獣被害対策について

町では鳥獣被害対策について、各種の補助メニューがあります。ぜひご活用ください。

■農業生産被害対策補助金

町内に所有する農地に、鳥獣被害対策のための柵（ワイヤーメッシュ・電気柵等）を設置するための補助制度。資材を購入する経費の半額を補助します。（補助上限50,000円）

■狩猟免許取得事業補助金

県の狩猟免許試験に係る経費（旅費・受験料等）について補助します。7月に事前講習会、8月～9月に試験が実施される予定です。募集は広報等で行います。

イノシシ等有害鳥獣に関するご相談やお問い合わせは、

岩城総合支所産業振興課有害鳥獣担当	TEL 7512500
弓削総合支所	TEL 7712500
生名総合支所	TEL 7613000
魚島総合支所 建設課	TEL 7810011

美しい景観を守るために

“ポイ捨て”や“不法投棄” はやめましょう！

不法投棄とは、違法に物を捨てる行為のことで、道路への空き缶等のポイ捨てから、海岸、畑等へのごみ捨て、産業廃棄物の投棄などさまざまなケースが含まれます。一方、ポイ捨てとは、空き缶、空き瓶、ペットボトル、犬猫の糞、タバコの吸殻、弁当ガラ、紙くず等、軽微なごみの少量な不法投棄を意味します。不法投棄にしても、ポイ捨てにしても、私たちの生活環境保全や公衆衛生を乱す迷惑行為であることには変わりありません。

不法投棄は犯罪です。罪は重く、5年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金に処せられます。

もし、不法投棄を発見した場合は、投棄者と直接接触せず、情報（日時、場所、性別、投棄物の種類、量、車の車種・ナンバーなど）を記録して、各総合支所住民課までご連絡ください。

美しい景観や豊かな自然環境を次世代の子どもたちに残すためにも、私たちの町をみんなで監視し、地域ぐるみで不法投棄の防止に努めましょう。



ポイ捨てされた弁当ガラ

藻場が支える豊かな海づくり！

～ガラモ母藻製作・設置イベントのお知らせ～

- ◆日時 3月5日（土） 10時～12時 小雨決行
- ◆場所 上島町岩城漁港物揚場（岩城の方は10時、生名の方は9時30分に生名港へ、弓削の方は9時40分に弓削港へ集合）
- ◆内容 漁船に乗り、ガラモ場へ母藻の設置
- ◆参加 定員30名、参加費無料（カップ・長靴など汚れてもよい服装 お子様は父兄同伴でご参加ください）

- ◆申込期限 2月18日（金）
- ◆問合せ・申込先 岩城生名地区漁業振興長期計画推進委員会（岩城生名漁業協同組合） TEL 089717512033

どなたでもお気軽に参加できます

しまなみ農業だより

ホウレンソウ



2月は一年で最も寒くなる頃ですが、菜っ葉類がおいしい季節です。煮浸し、和え物、鍋物に漬物と利用方法も様々です。ほとんどの菜っ葉類はアブラナ科に属しますが、春菊はキク科、そしてホウレンソウはアカザ科の野菜です。自分で種播きをする方ならご存知かと思いますが、ミズナやコマツナの種はダイコンの種と良く似て、1mm程度のころころとした球形で、ホウレンソウの種はもっと大きく4mmくらいのころころとした感じます。他の菜っ葉類とは明らかに違うことにお気づきでしょう。

栽培の要点

春播きして秋採りの作型もありますが、本来は秋播きして冬から春にかけて収穫し、寒さに

あたることでおいしくなる野菜です。酸性土壌を嫌いますので新開の畑であれば播種前に石灰を施用すべきですが、何度も野菜を作付けた畑であればあまり気にしなくても大丈夫でしょう。このホウレンソウのように大きな種子は、畑に直播しても発芽がそろいにくいので、播種前に一晩水につけ、良く吸水させてから播くのがコツです。発芽後はマメに見回り早めの間引きや食害虫に気をつけ、また湿気を嫌い病気が出やすいので降雨後などは特に排水に努めます。

西洋種と東洋種

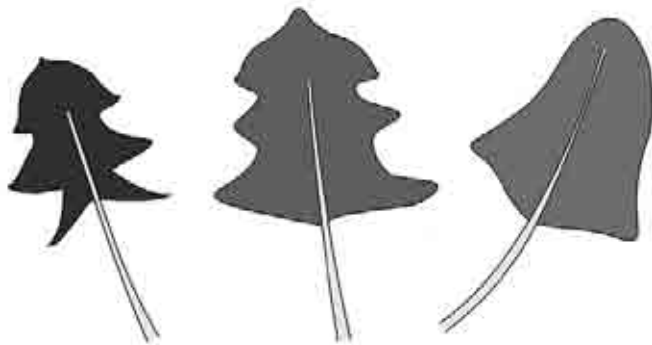
昔のホウレンソウはもっと小型で葉の切れ込みが強く、根っこがもっとと赤かった気がするのに最近のホウレンソウは葉が大きい割にちよつとエグいね、とお気づきの方はなかなか鋭い。かつて主流だった東洋種は店頭でほとんどみることにはなくなっ

ひ弱になった野菜たち

野菜類のアクはアルカロイドなど

アルカリ性物質のものが多いためです。ホウレンソウのアクはシュウ酸という酸性物質で、カルシウム等と結合すると不溶性の針状結晶を作ってしまう、これが体内で結石の原因となります。そのため古来から菜っ葉類でもホウレンソウだけは生食せず、茹でこぼしてシュウ酸を溶出したから食べることになっていきました。最近ではサラダほうれんそうとい

って、生食可の水耕栽培物もあるようです。立派な緑黄色なのでビタミンAを豊富に含みますが、残念ながら鉄分はさほど多くありません（鉄分はむしろコマツナのほうが多いくらい）。ビタミンAにしても、最近のものはだんだんと少なくなりつつあります。これは最近の品種や栽培法にも原因があります。早く大きくなり病気にも強い、というのは栽培する上では誠に都合が良いことですが、見た目だけ早く大きくなっても中身がさっぱり、ということにつながってしまうのです。促成系の品種や温室栽培では、確かに早く大きくなり病気や虫のコンントロールもしやすく、水耕栽培に至っては泥も付かないので外食産業などでもどんどん使われていますが、栄養価が年々乏



ホウレンソウの葉の形

(左から 東洋種、1代雑種（剣葉系）、西洋種)